平成 24 年 5 月 17 日

各　位

会 社 名　　アジア・アライアンス・
ホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　船戸　義徳
（コード番号：9318 東証第 2 部）
問合せ先　　経営企画部長　　上野　弘行
（TEL：03-5638-8562）

平成 24 年 3 月期連結・個別業績見込みの前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社の平成 24 年 3 月期連結・個別業績の見込みにつきまして、前年同期（平成 23 年 3 月期）実績との比較で適時開示規則に定める目安以上の差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）連結業績見込みについて

（単位：百万円）

	売 上 高	営業損益	経常損益	当期純損益
平成 23 年 3 月期実績（A）	3,753	△790	△843	△1,678
平成 24 年 3 月期見込み（B）	4,015	△254	△200	△271
増減額（B－A）	262	535	642	1,407
増減率（%）	7.0	－	－	－

２．平成 24 年 3 月期連結業績見込みと前年同期実績との差異の主要な理由について

（１）売上高について

株式会社六合（平成 24 年 2 月 7 日付で同社に吸収合併された土岐南テクノヒルズ開発株式会社を含む。以下同様）の工事売上高および不動産売上高が増加したこと等により、平成 24 年 3 月期連結売上高は 4,015 百万円（前年同期は 3,753 百万円）となり、前年同期比で増加する見込みであります。

（２）営業損失および経常損失について

株式会社六合の営業損益・経常損益が黒字に転じたことや、保有株式の配当金を受領したこと等により、平成 24 年 3 月期連結営業損失は 254 百万円（前年同期は損失 790 百万円）、および同連結経常損失は 200 百万円（前年同期は損失 843 百万円）となり、いずれも前年同期比で損失額が減少する見込みであります。

（３）当期純損失について

特別利益・特別損失の計上が少額にとどまったこと等により、平成 24 年 3 月期連結純損失は 271 百万円（前年同期は損失 1,678 百万円）となり、前年同期比で損失額が減少する見込みであります。

３．平成 24 年 3 月期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）個別業績見込みについて

（単位：百万円）

	売 上 高	営業損益	経常損益	当期純損益
平成 23 年 3 月期実績（A）	1	△453	△438	△1,673
平成 24 年 3 月期見込み（B）	－	△410	△388	△406
増減額（B－A）	－	42	50	1,266
増減率（%）	－	－	－	－

４．平成 24 年 3 月期個別業績見込みと前年同期実績との差異の主要な理由について

（1）売上高について

新規投資の実施および収益化が平成 24 年 4 月以降となること等により、平成 24 年 3 月期個別売上高はゼロ（前年同期は 1 百万円）となり、前年同期比で減少する見込みであります。

（2）営業損失および経常損失について

平成 24 年 3 月期個別営業損失は 410 百万円（前年同期は損失 453 百万円）、および同個別経常損失は 388 百万円（前年同期は損失 438 百万円）となり、いずれも前年同期並み（差異が前年同期比で±30%未満）となる見込みであります。

（3）当期純損失について

特別利益・特別損失の計上が少額にとどまったこと等により、平成 24 年 3 月期個別純損失は 406 百万円（前年同期は損失 1,673 百万円）となり、前年同期比で損失額が減少する見込みであります。

以 上

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の数値は、今後の様々な要因によって上記の予想値等と異なる場合があります。